

教育委員会定例会会議録

1 日 時 平成26年5月21日(水) 午後2時30分～午後4時20分

2 場 所 伊東市役所 5階小会議室

3 出席者 1番 佐藤 潤一君 2番 上村 昌延君

3番 杉田 純子君 4番 井上 靖史君

5番 内山 義夫君

4 参 与 教育部長 鶴田 政利 次長兼教育総務課長 堀野 順章

教育指導課長 小田 靖久 幼児教育課長 岸 弘美

生涯学習課長 堀井 裕三

5 事務局 教育総務課課長補佐 山下 匡弘 主事 日吉 直樹

6 会議の経過

委員長：ただ今から、伊東市教育委員会5月定例会を開会します。それでは、はじめに教育長の報告をお願いします。

内山教育長：「伊東市教育委員会5月定例会教育長報告事項資料」に基づき、次の事項について報告を行う。

4月25日 県教委人権推進室来庁

27日 少年少女合唱団発表会

28日 学級編制実態調査（南小、南中）

30日 新日本婦人の会要望

5月 2日 幼稚園長会

8日 市幼研総会

9日 鎌田城址視察、幼P連総会

10日 教職員体育大会、子どもの読書推進ワークショップ

杵太郎会総会

- 11日 伊高・伊商野球定期戦
- 13日 校長会、指導員・研究員・主幹・教務合同研
- 14日 育英奨学選考委員会、文化協会総会
- 15日 いでゆ大学開講式、みのり会総会
- 16日 伊東署少年警察連絡協議会総会
- 17日 祐親まつり薪能
- 18日 JCサッカー大会
- 19日 保育園訪問、区長との情報交換会
- 20日 社会教育委員会子ども子育て会議

その他として、マーレ・スポーツクラブより「サッカー用ゴールネット」を2組、NPO法人森のボランティアより「竹炭」300袋の寄付をいただいた。

少年少女合唱団の発表会では多くの方が訪れており、伊東市の団体として市民に愛されていると感じた。祐親まつりでは「子どもお能教室」の発表があり、子どもたちの姿勢がとても素晴らしかった。保育園の訪問では園長や保育士が明るい態度で園児たちに接しており非常に良かったが、施設面では老朽化が著しく、対応すべき問題点である。

委員長：ありがとうございました。ただいまの教育長報告について何か意見、質問はございますか。

委員長：サッカーゴールの転倒等の安全性については確認しているのか。

内山教育長：使用していない時は寝かせておくよう指導している。

委員長：その他、何かございますか。

(意見・質問なし)

それでは議決事項に移ります。教議第2号「伊東市いじめ防止基本方針に

ついて」説明をお願いします。

(小田教育指導課長から資料に沿って説明)

委員長：このことについて何か質問等がありますか。

委員：大津市の事件以来、教育委員会の隠蔽体質とスピード感のなさが問題となっている。教育委員会としてやるべきことは、迅速な報告と対応である考える。

委員長：素早い対応は非常に大切である。

委員：再調査の際の議会への報告というのは過去に事例があったか。

小田教育指導課長：大津市の事件を受けての対応である。

委員：報道の対応も全てリンクしているので市長部局や市議会との情報の共有の役割もあるのか。

内山教育長：教育委員会規則だけでは対応できない問題もあるため、市長部局への調査を依頼しなければならない場合もある。

委員長：その他、何かございますか。

(意見・質問なし)

それではこの件についてお諮りします。教議第2号「伊東市いじめ防止基本方針について」は原案どおり承認してよろしいでしょうか。

(異議なし)

委員長：委員の皆様から承認が得られましたので、教議第2号については原案どおり承認されました。

続きまして報告事項へ移ります。教報第4号「伊東市育英奨学生選考結果について」説明をお願いします。

(堀野次長兼教育総務課長から資料に沿って説明)

委員長：ただいまの説明につきまして意見、質問はございますか。

委員：申請者は全て選考を通っているのか。また、選考基準はどのようなものなのか。

堀野次長兼教育総務課長：全て通っている。選考においては、成績優秀であること、学校長の推薦を受けることや学資の支払いが困難であること等の基準にて実施をしている。

委員：スポーツ面での進学でも奨学金をもらうことができるのか。

堀野次長兼教育総務課長：選考委員会でその都度協議して決定する。

委員長：その他、何かございますか。

(意見・質問なし)

それでは次に教報第5号「西小学校屋内運動場改築工事について」説明をお願いします。

(堀野次長兼教育総務課長から資料に沿って説明)

委員長：ただいまの説明につきまして意見、質問はございますか。

(意見・質問なし)

質問等ないようですので、次にその他の事項「各課報告について」説明をお願いします。

小田教育指導課長：教育指導課の報告をする。

4月の生徒指導報告については、小学校1年生から4年生の問題行動が多く、中学校では2年生3年生の女子の問題行動が多いため指導している状況である。いじめ認知件数については小学校で4件、中学校で12件の報告がされている。このうち昨年度からの案件は11件であり、新規の案件は5件である。不登校についてであるが、小学校と中学校の出現率の関連性として、例えば小学6年生の出現率が高ければ、3年後の中学3年生の出現率も高くなるという傾向がある。しかし、小学校の出現率の割合が非常に高かった平

成 2 2 年度に比べ、3 年後にあたる平成 2 5 年度の中学校の出現率は非常に抑えられた数値となっている。このことから、学校全体として、不登校に対する意識の高まりが指導にもよい影響を与えているのだと考えることができる。

委員：報告内容との関係性は薄いですが、小学校の給食に対する教育について伺いたい。私たちが小学生の時代は、全て残さずに食べるように、との指導を受けていた。子どもたちには好き嫌いがあると思うが、現在はどのような指導をしているのか。

小田教育指導課長：まず、配膳は均等に行い、自分で食べきれないと思う分を戻す。ある程度、本人が食べる量を微調整してから食べ始めることとなっている。

委員長：その他、何かございますか。

岸幼児教育課長：幼児教育課の報告をする。

各保育園を訪問したが、園児たちはしっかりあいさつができていた。民間保育園は施設も新しく、各園の特色が良くでていた。公立保育園は施設面の懸念があるため対応していきたい。また、つくし保育園が来年度に開所するため待機児童の減少も期待される。

委員長：つくし保育園の保育士は何人か。

岸幼児教育課長：1 2 人の保育士に加え看護師や調理員等も含め、計 2 0 人くらいかと思う。

委員長：その他、何かございますか。

堀井生涯学習課長：生涯学習課の報告をする。

5 月 1 5 日に「いでゆ大学」が開校し、受講者が 4 6 人であった。5 月 2 2 日には「楽しく学ぶ子育て講座」を実施する。受講予定者は 1 4 人である。

また、「ふるさと教室」については小学生が57人参加予定であり、「夢チャレンジ」では中学生が1人、高校生が2人参加する。

委員長：今後の日程について確認します

6月の定例会については6月30日（月）午後2時30分から

7月の定例会については7月25日（金）午後2時30分から

委員長：ご苦労さまでした。以上で伊東市教委員会5月定例会を終了します。

以上のとおり会議の次第を記録し、ここに署名する。

委員長 佐 藤 潤 一

委 員 上 村 昌 延

書 記 日 吉 直 樹